

# 大田区

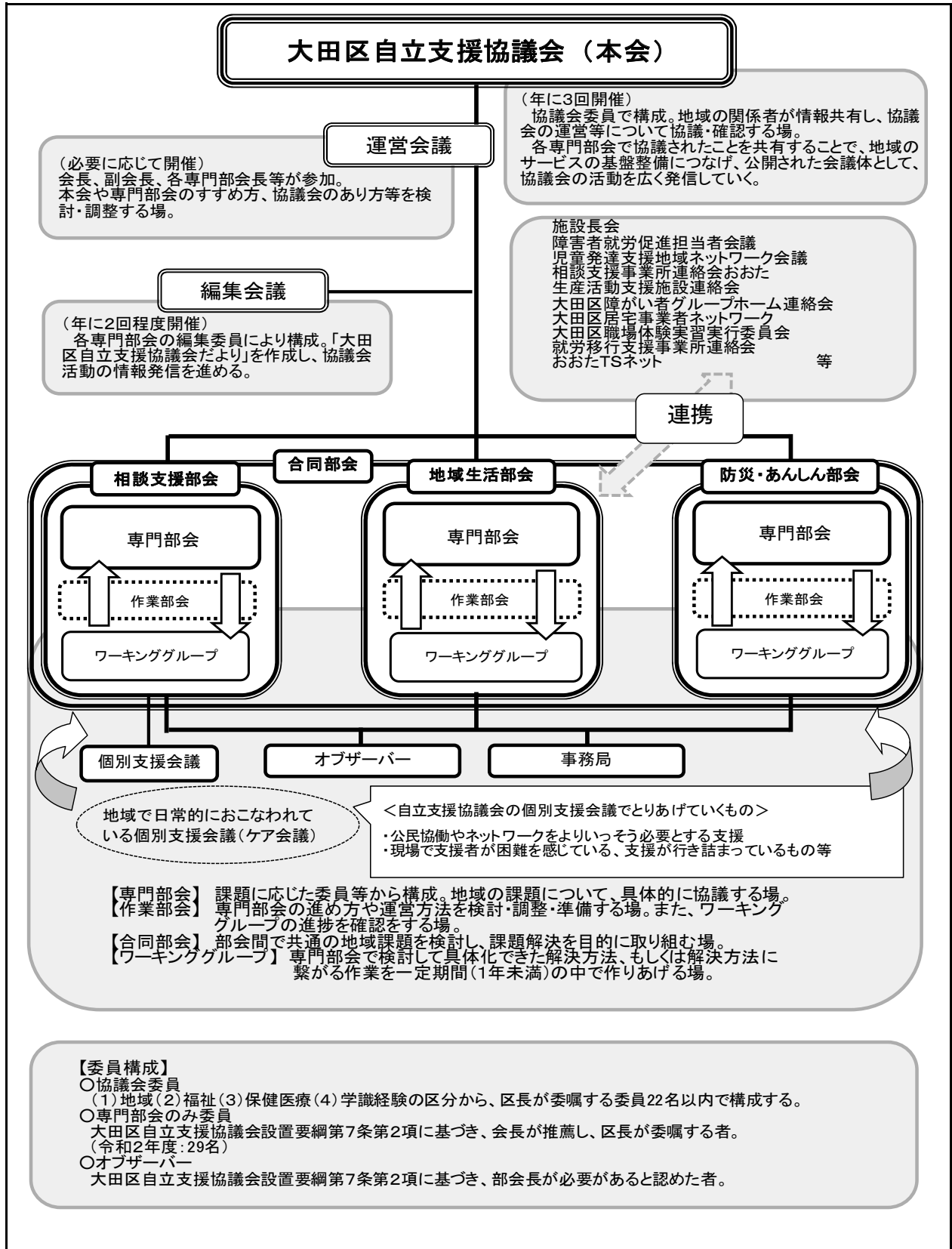
【名称】大田区自立支援協議会

【ホームページURL】 <https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/fukushi/shougai/kaigi/kvogikai/index.html>

【設置年月】平成20年7月

【運営方法】直営

【組織図】



**【相談支援体制の整備状況】**

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
1	0	8	6	41	16

**【地域生活支援拠点等の整備状況】**

整備状況	整備時期	整備類型
① 整備済	平成29年7月	③ 多機能拠点整備型+面的整備型

**【日中サービス支援型共同生活援助の有無】**

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
③ なし	—

**【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】**

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
1	21 (3)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
相談支援部会	4	17 (0)
地域生活部会	3	18 (0)
防災・あんしん部会	3	12 (5)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

**【全体会の委員構成及び活動内容】**

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	1	保健所	0
教育関係機関	3	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	7	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	2
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	0	地域住民	0	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	1		
合計	21				

## 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	名川 勝	筑波大学 人間系 障害科学域	学識経験者	
2	副会長	山根 聖子	大田区手をつなぐ育成会	障害当事者・家族・関係団体	
3		蛭子 明子	大田区肢体不自由児者父母の会	障害当事者・家族・関係団体	
4		青山 明子	大田区重症心身障害児(者)を守る会	障害当事者・家族・関係団体	
5		福田 美和	NPO法人 大身連	障害当事者・家族・関係団体	
6		山内 京子	大田区視覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
7		竹内 千代江	大田区聴覚障害者協会	障害当事者・家族・関係団体	
8		古怒田 幸子	大田区精神障害者家族連絡会	障害当事者・家族・関係団体	
9	副会長	神作 彩子	大田区立障がい者総合サポートセンター	相談支援事業者	
10		金子 正	社会福祉法人睦月会 Beアテンション凧	障害福祉サービス等事業者	
11		山本 利寛	社会福祉法人ブシケおおた かまた生活支援センター	相談支援事業者	
12		柴田 静	社会福祉法人東京コロニー 東京都大田福祉工場	障害福祉サービス等事業者	
13		伊藤 朋春	株式会社ナイスケア	障害福祉サービス等事業者	
14		小野 英次郎	特定非営利活動法人みんなの家	障害福祉サービス等事業者	
15		大場 貴弘	社会福祉法人大田幸陽会 障害者生活ホーム	障害福祉サービス等事業者	
16		志村 陽子	おおたTSネット	その他	
17		宮澤 創	東京都立城南特別支援学校	教育関係機関	
18		蓮井 祥子	東京都立田園調布特別支援学校	教育関係機関	
19		江頭 公美子	東京都立矢口特別支援学校PTA	教育関係機関	
20		清水 悠子	社会福祉法人 大田区社会福祉協議会	社会福祉協議会	
21		森山 美穂	東京都保健医療公社 荏原病院	医療関係者	

## (2) 活動内容

各部会活動の共有・発信。地域課題から障がい福祉サービスの基盤整備につなげていく。

## 【専門部会の委員構成及び活動内容】

### (1) 委員構成

種別	部会名		
	相談支援部会	地域生活部会	防災・あんしん部会
学識経験者	0	0	1
医療関係者	1	1	0
保健所	0	0	0
教育関係機関	0	3	0
雇用関係機関	0	0	0
企業	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	2	4	7
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	10	1	0
障害福祉サービス等事業者	1	8	1
社会福祉協議会	1	0	0
法曹関係者	1	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	1	1	3
計	17	18	12

## (2) 活動内容

部会名	活動内容
相談支援部会	個別支援会議から地域課題を抽出し検討する。 大田区の相談支援体制を検証する。
地域生活部会	障がいがある方の地域生活の共通課題を抽出することで、全ての障がいの ある方が大田区で暮らす上での生活を考える機会を設ける。
防災・あんしん部会	防災・権利擁護・合理的配慮等の大田区の取組みや仕組みを改めて学び、 実は活用できていない、あまり知られていないことを確認する。それらを 学び確認することで、協議会で取組むべきことを検討する。

### 【地域協議会の活動状況】

#### 1 地域協議会の協議事項（複数回答）

##### ① 相談支援事業の運営体制に関すること

【専門部会の委員構成及び活動内容】 (2) 相談支援部会参照

##### ⑤ 医療と福祉の連携に関すること

相談支援部会の課題の抽出の中で、医療と福祉の連携についての課題が抽出される。

##### ⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

防災・あんしん部会の中で、「大田区の権利擁護の仕組みについて学ぶ」をテーマに、障害者差別解消法、合理的配慮についての学習会を実施

#### 2 地域協議会としての役割（複数回答）

##### ② 情報共有・情報発信

学識、当事者、医療、教育と福祉分野のみならず幅広い分野からの情報を共有し、課題解決につなげられるようにしている。また、共有した情報については、各委員の推薦母体に持ち帰ってもらい発信している。

##### ③ 分野を越えてのネットワークの構築

課題に応じた検討メンバーを分野を超えて招集。顔の見える関係の構築につながっている。

##### ④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

学識、当事者、医療、教育と福祉分野のみならず幅広い分野からの情報を共有し、課題解決につなげられるようにしている。

##### ⑤ 地域課題の整理

各専門部会で地域課題の抽出を行い、自立支援協議会で取り上げるべき課題を整理し議論へとつなげている。

#### 3-1 地域協議会における地域課題

##### ① あがっている

#### 3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

##### ② 全体会、専門部会、各種連絡会等

##### ③ 個別支援会議

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等  
（複数回答）

① 相談支援の質及び量

課題の抽出のみで検討は今後行っていく。

② 社会資源の開発及び改善

課題の抽出のみで検討は今後行っていく。

③ 権利擁護・虐待防止

課題の抽出のみで検討は今後行っていく。

④ 高齢福祉分野との連携

課題の抽出のみで検討は今後行っていく。

⑥ 緊急・災害等対応

課題の抽出のみで検討は今後行っていく。

⑫ ライフステージを通じた支援

課題の抽出のみで検討は今後行っていく。

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

特になし。

4 地域協議会における当事者の参画状況

（当事者の委員がいる区市町村）

4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、  
背景、経歴等の方が

各障害者団体からの推薦

(2) 多様な当事者の委員（障害や難病の種別、性別、年齢等）に参加していただく  
に当たり、取り組んでいること、課題になっていること

ヒアリンググループ（必ずマイクで名前を言ってから話すルールも含めて）、手話通訳（聴覚障がい）、  
データ化した資料の事前配布、ガイドヘルパー（視覚障がい）の配慮を行っている。  
コロナ禍によりWEBでの会議も検討したが、当事者委員への情報保障が困難

（地域協議会を設置している区市町村）

4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者（障害や難病の種別、性別、  
年齢等）の声を吸いあげられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題  
になっていること

知的障がいや精神障がいなど、説明理解への支援や体調への配慮が必要な方の参加について課題があ  
がっている。